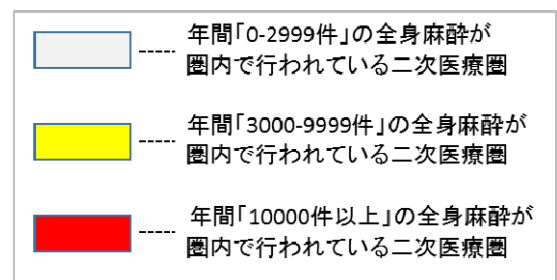
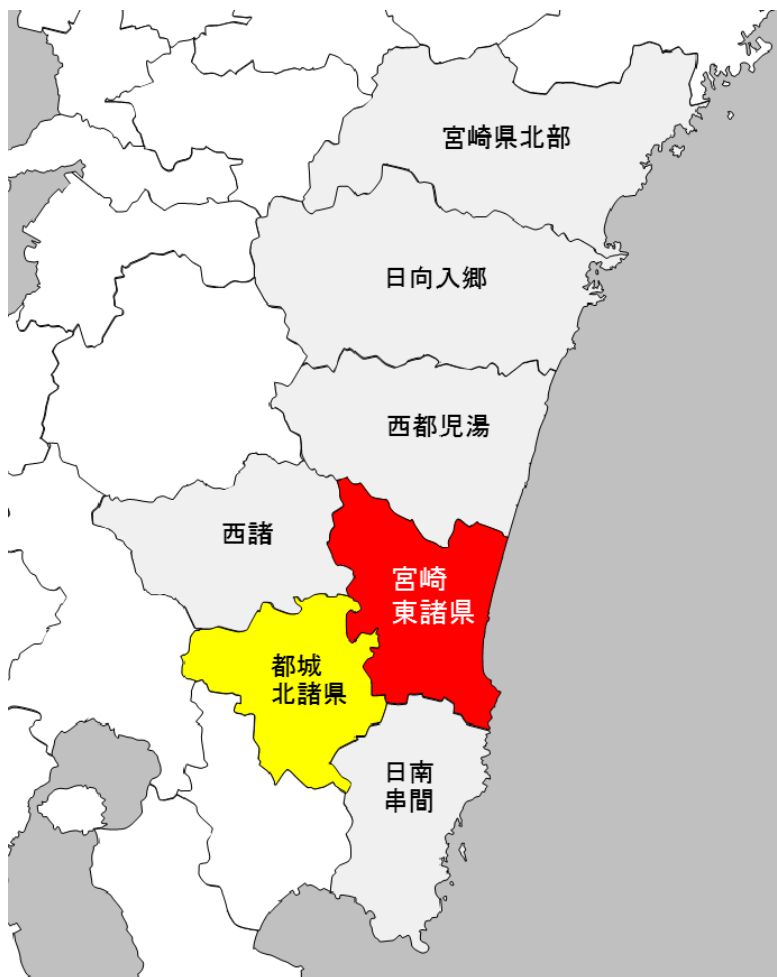


45. 宮崎県



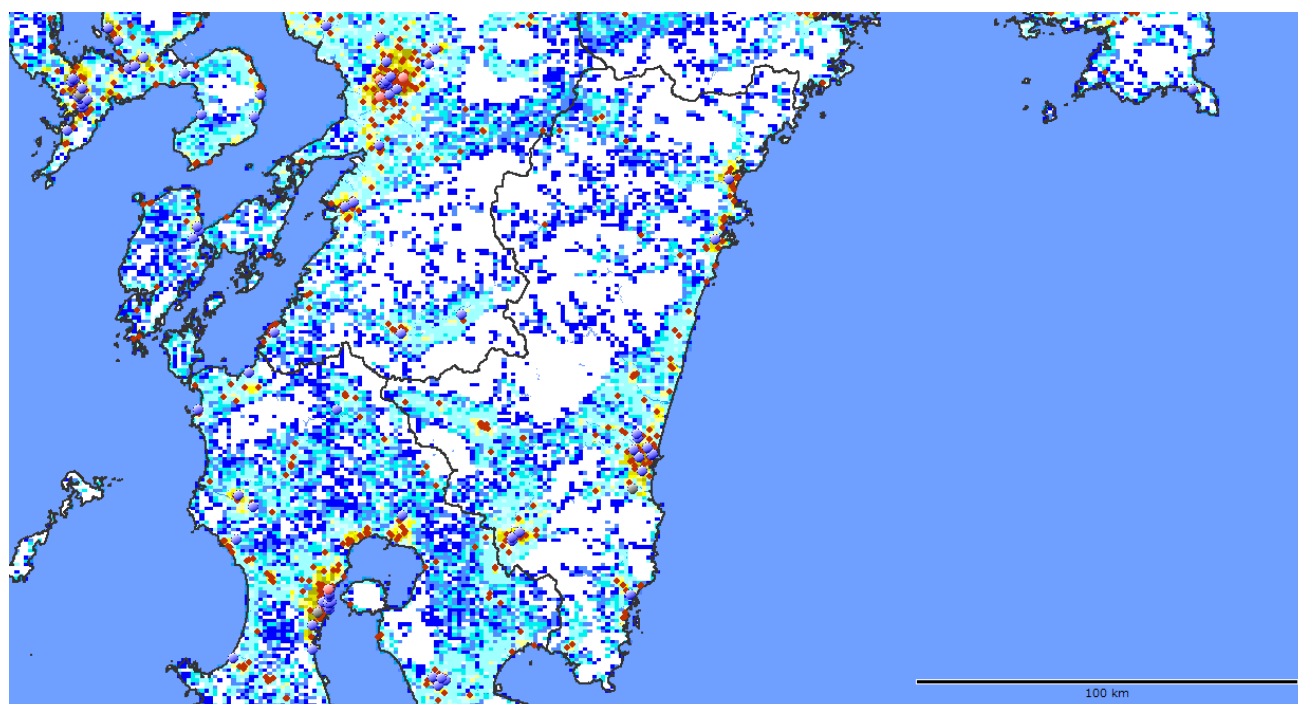
45. 宮崎県

目次

宮崎県.....	45 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	45 - 7
1. 宮崎東諸県医療圏.....	45 - 17
2. 都城北諸県医療圏.....	45 - 21
3. 宮崎県北部医療圏.....	45 - 25
4. 日南串間医療圏.....	45 - 29
5. 西諸医療圏.....	45 - 33
6. 西都児湯医療圏.....	45 - 37
7. 日向入郷医療圏.....	45 - 41

45. 宮崎県

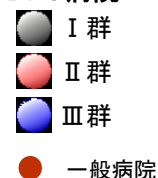
人口分布¹ (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 宮崎県を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(宮崎県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宮崎県は、総人口約 1107 千人(2015 年推計)、面積 7736 km²、人口密度は 143 人/km²である。

*人口の将来予測： 宮崎県の総人口は 2025 年に 1034 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 901 千人へと減少する(2025 年比-13%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 173 千人が、2025 年にかけて 205 千人へと増加し(2015 年比+18%)、2040 年には 213 千人へと増加する(2025 年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宮崎県の一人当たり医療費(国保)は 324 千円(偏差値 53)、介護給付費は 274 千円(偏差値 56)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宮崎県の一人当たり急性期医療密度指数²は 1.12、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.46 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 49(病院医師数 50、診療所医師数 48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 66 と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 56 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 51 と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 54 と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 53 とやや多く、回復期病床数は偏差値 54 とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 62 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 51 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宮崎県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、14383 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 9623 床(偏差値 48)、高齢者住宅等が 4760 床(偏差値 44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12623 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 44、特別養護老人ホーム 48、介護療養型医療施設 55、有料老人ホーム 45、軽費ホーム 51、グループホーム 53、サ高住 40 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 45 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 53 とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2358 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は14534床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は10900床であり、その差は-3634床(-25%)である。

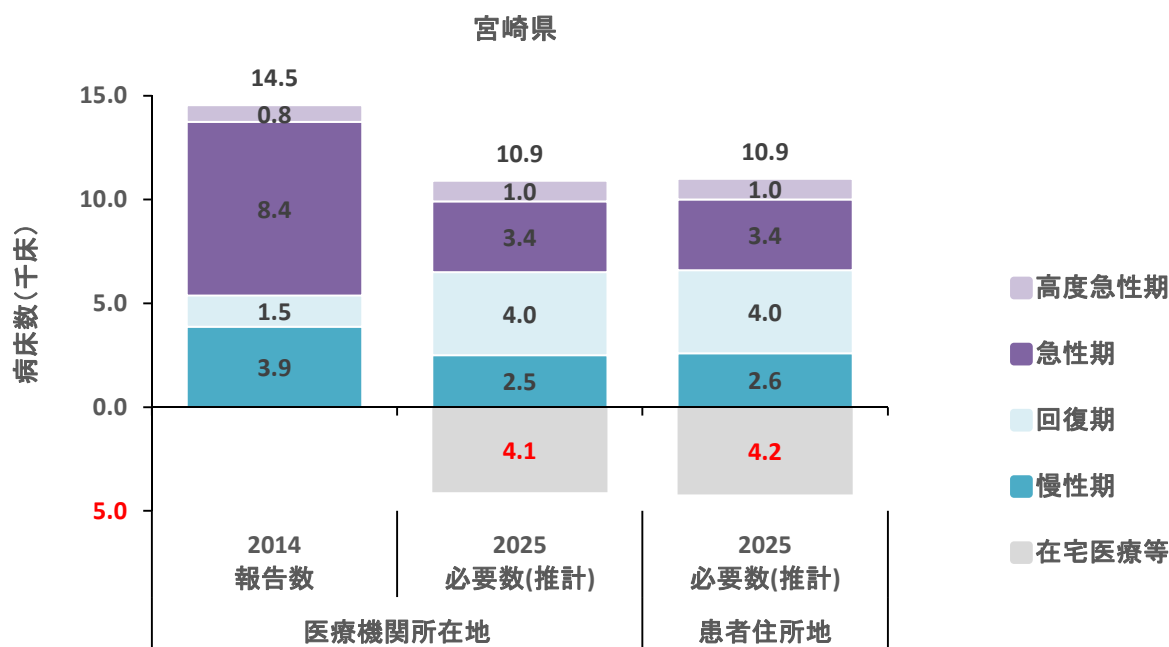
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は788床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1000床であり、その差は+212床(+27%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は8369床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3400床であり、その差は-4969床(-59%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は1504床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は4000床であり、その差は+2496床(+166%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は3873床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2500床であり、その差は-1373床(-35%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は4100人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は-4%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-29%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

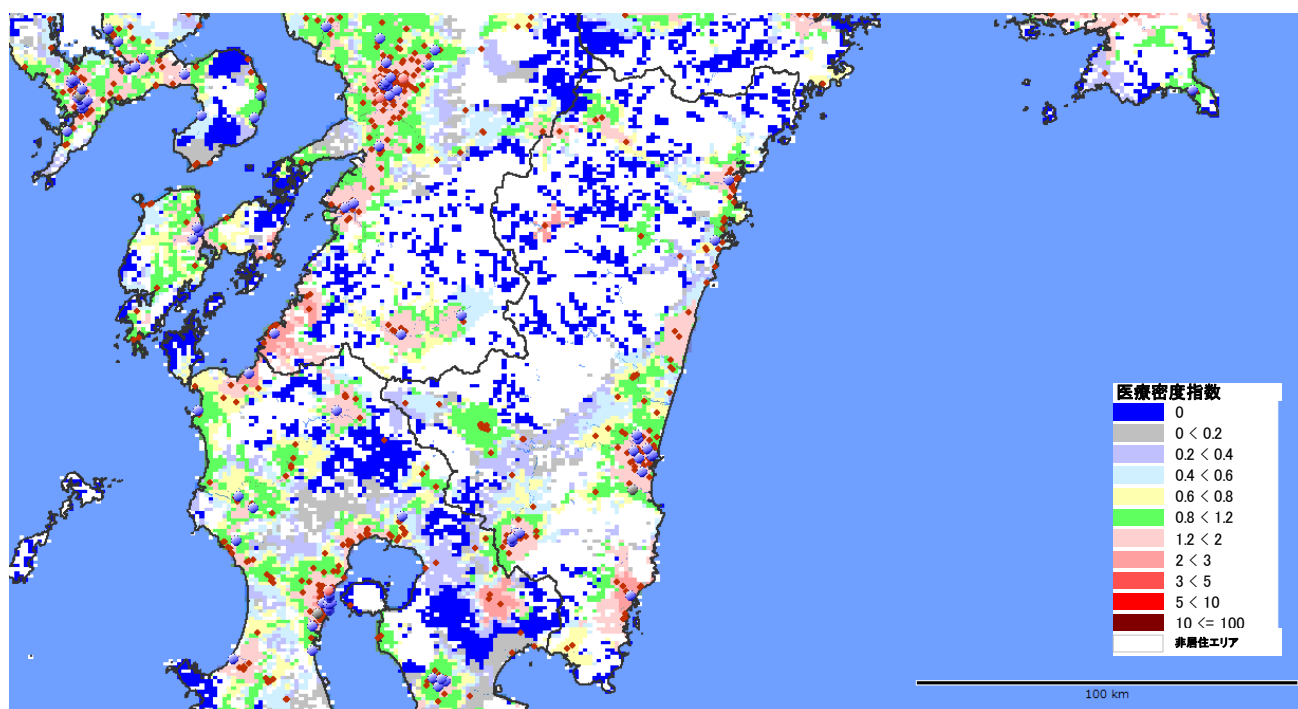
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

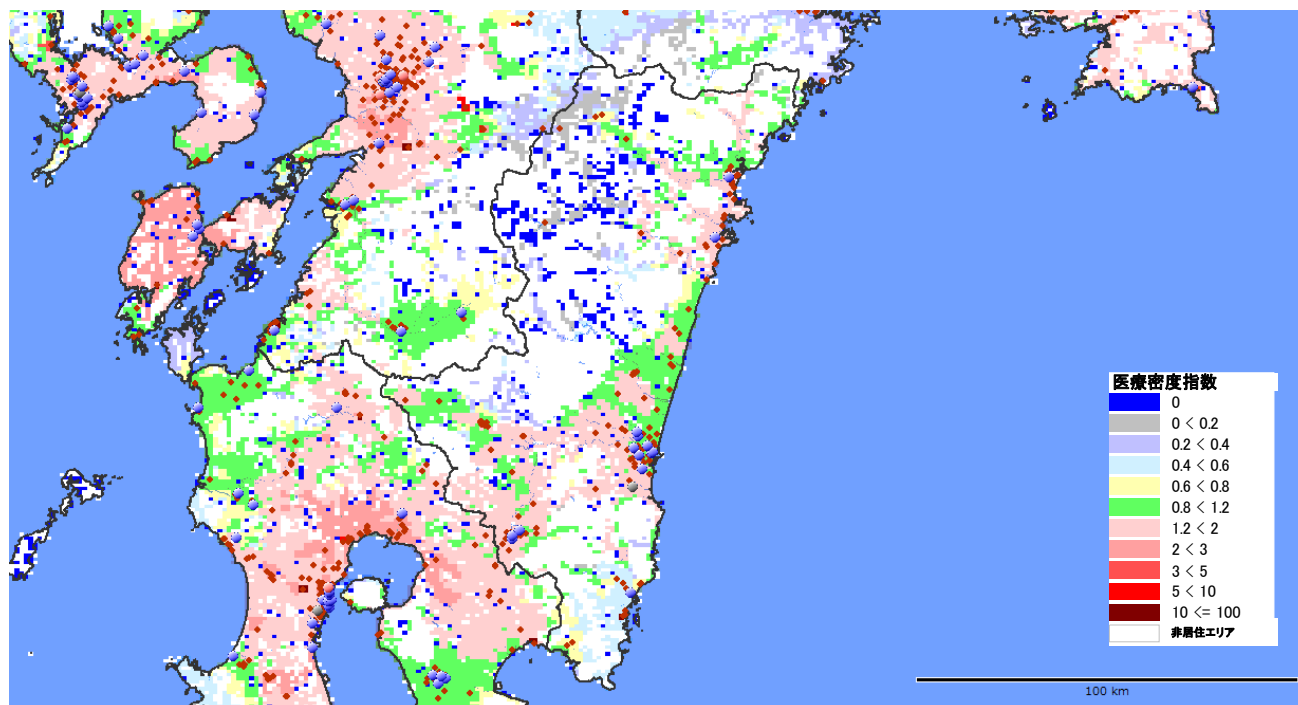
45. 宮崎県

2. 医療密度⁵

図表 45-1 急性期医療密度指数マップ



図表 45-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 45-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
宮崎県	1,107	36位	7,736	14位	143.1		30%	1,034	901	173	205	213	-7%	-13%	18%	4%
宮崎東諸県	427	39%	871	11%	491.1	地方都市型	26%	413	375	55	75	84	-3%	-9%	36%	12%
都城北諸県	191	17%	763	10%	249.7	地方都市型	29%	180	161	29	33	34	-6%	-11%	14%	3%
宮崎県北部	147	13%	1,555	20%	94.5	過疎地域型	32%	132	109	26	29	27	-10%	-17%	12%	-7%
日南串間	73	7%	831	11%	88.1	過疎地域型	36%	64	50	15	15	14	-12%	-22%	0%	-7%
西諸	76	7%	931	12%	81.4	過疎地域型	35%	67	55	16	16	16	-12%	-18%	0%	0%
西都児湯	103	9%	1,154	15%	89.0	過疎地域型	31%	94	78	17	20	19	-9%	-17%	18%	-5%
日向入郷	91	8%	1,630	21%	55.5	過疎地域型	31%	84	72	15	17	17	-8%	-14%	13%	0%
出典	<人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 45-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
宮崎県	1.12	1.46	-4.4%	-24.1%	-28.6%
宮崎東諸県	1.31	1.46	-10.3%	-49.1%	-68.0%
都城北諸県	1.10	1.79	-14.3%	-29.4%	-34.7%
宮崎県北部	1.06	2.06	-9.0%	-19.8%	-14.1%
日南串間	1.58	1.58	-10.1%	-13.3%	-5.0%
西諸	0.72	1.23	-0.2%	-4.7%	-3.0%
西都児湯	0.87	1.51	-10.8%	-30.5%	-26.4%
日向入郷	0.64	1.99	-1.9%	-19.1%	-19.9%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等等である。				

¹ 日経総研 WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

45. 宮崎県

資_図表 45-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
宮崎県	324	53	274	56
宮崎東諸県	303	48	268	55
都城北諸県	338	57	291	61
宮崎県北部	345	58	285	59
日南串間	380	67	281	58
西諸	357	61	294	62
西都児湯	312	50	250	50
日向入郷	338	57	246	49
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 45-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
宮崎県	141	1.7%	12.7	64	899	0.9%	81	51
宮崎東諸県	41	29%	9.6	57	400	44%	94	57
都城北諸県	28	20%	14.7	69	135	15%	71	46
宮崎県北部	20	14%	13.6	66	98	11%	67	44
日南串間	12	9%	16.4	73	65	7%	89	55
西諸	16	11%	21.1	84	59	7%	78	49
西都児湯	11	8%	10.7	59	81	9%	79	50
日向入郷	13	9%	14.4	68	61	7%	67	44
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 45-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床				有床			
					診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
宮崎県	899	0.9%	81	51	705	0.8%	64	46	194	2.1%	17.5	65
宮崎東諸県	400	44%	94	57	325	46%	76	52	75	39%	17.5	65
都城北諸県	135	15%	71	46	88	12%	46	36	47	24%	24.7	75
宮崎県北部	98	11%	67	44	75	11%	51	39	23	12%	15.6	62
日南串間	65	7%	89	55	56	8%	76	52	9	5%	12.3	57
西諸	59	7%	78	49	46	7%	61	44	13	7%	17.2	64
西都児湯	81	9%	79	50	69	10%	67	47	12	6%	11.7	56
日向入郷	61	7%	67	44	46	7%	51	39	15	8%	16.6	63
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 45-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所				病院+			
					診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
宮崎県	19,299	1.2%	1,743	60	3,147	2.6%	284	67	22,446	1.3%	2,027	62
宮崎東諸県	6,586	34%	1,541	56	1,186	38%	277	66	7,772	35%	1,818	58
都城北諸県	3,629	19%	1,904	63	793	25%	416	79	4,422	20%	2,320	67
宮崎県北部	2,738	14%	1,863	62	361	11%	246	64	3,099	14%	2,108	63
日南串間	1,890	10%	2,580	76	139	4%	190	58	2,029	9%	2,770	75
西諸	1,433	7%	1,891	63	218	7%	288	67	1,651	7%	2,179	65
西都児湯	1,293	7%	1,259	50	187	6%	182	58	1,480	7%	1,441	52
日向入郷	1,730	9%	1,911	63	263	8%	291	68	1,993	9%	2,201	65
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 45-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養				精神			
					療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
宮崎県	9,476	1.1%	856	56	3,852	1.2%	348	54	5,844	1.7%	528	62
宮崎東諸県	3,797	40%	888	58	1,293	34%	302	52	1,398	24%	327	53
都城北諸県	1,816	19%	953	61	390	10%	205	47	1,419	24%	744	72
宮崎県北部	1,205	13%	820	55	576	15%	392	56	953	16%	648	67
日南串間	794	8%	1,084	66	413	11%	564	64	674	12%	920	80
西諸	588	6%	776	53	410	11%	541	63	431	7%	569	64
西都児湯	779	8%	758	52	355	9%	346	54	155	3%	151	45
日向入郷	497	5%	549	43	415	11%	458	59	814	14%	899	79
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

45. 宮崎県

資_図表 45-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数³

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
宮崎県	867	1.2%	78	54	447	2.1%	40	51
宮崎東諸県	256	30%	60	50	174	39%	41	51
都城北諸県	167	19%	88	56	84	19%	44	52
宮崎県北部	160	18%	109	61	50	11%	34	50
日南串間	41	5%	56	49	0	0%	0	42
西諸	104	12%	137	67	26	6%	34	50
西都児湯	50	6%	49	48	51	11%	50	53
日向入郷	89	10%	98	59	62	14%	68	57
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

資_図表 45-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
宮崎県	23,592	0.9%	2,131	51	10,932	1.0%	987	55
宮崎東諸県	14,604	62%	3,416	65	4,248	39%	994	55
都城北諸県	3,840	16%	2,015	50	2,484	23%	1,303	66
宮崎県北部	2,232	9%	1,519	45	1,560	14%	1,061	58
日南串間	1,296	5%	1,769	47	888	8%	1,212	63
西諸	732	3%	966	39	648	6%	855	51
西都児湯	192	1%	187	30	348	3%	339	33
日向入郷	696	3%	769	37	756	7%	835	50
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

³福岡県、近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は割合で計算している。

資_図表 45-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
宮崎県	2,816	0.9%	254	49	1,820	0.9%	164	50	996	0.8%	90	48
宮崎東諸県	1,453	52%	340	59	966	53%	226	60	487	49%	114	56
都城北諸県	427	15%	224	46	269	15%	141	47	158	16%	83	46
宮崎県北部	299	11%	204	44	184	10%	125	44	115	12%	78	44
日南串間	187	7%	255	50	125	7%	171	51	62	6%	85	46
西諸	148	5%	195	43	92	5%	121	44	56	6%	74	43
西都児湯	147	5%	143	37	80	4%	77	37	68	7%	66	40
日向入郷	156	6%	172	40	104	6%	115	43	51	5%	57	37
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 45-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
宮崎県	14,297	1.3%	1,291	66	11,140	1.3%	1,006	63	3,158	1.7%	285	69
宮崎東諸県	6,044	42%	1,414	70	4,387	39%	1,026	63	1,657	52%	388	83
都城北諸県	2,665	19%	1,398	69	2,153	19%	1,130	68	512	16%	269	67
宮崎県北部	1,781	12%	1,212	63	1,457	13%	991	62	324	10%	221	61
日南串間	1,007	7%	1,374	69	844	8%	1,152	69	163	5%	222	61
西諸	944	7%	1,246	64	776	7%	1,024	63	168	5%	222	61
西都児湯	774	5%	753	47	607	5%	591	45	167	5%	162	53
日向入郷	1,083	8%	1,196	62	916	8%	1,012	63	167	5%	185	56
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 45-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数				薬剤師数			
	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
宮崎県	1,123	1.0%	101	53	1,962	0.7%	177	45
宮崎東諸県	462	41%	108	54	932	48%	218	50
都城北諸県	192	17%	100	52	317	16%	166	44
宮崎県北部	148	13%	101	53	247	13%	168	44
日南串間	75	7%	102	53	120	6%	164	44
西諸	83	7%	110	54	119	6%	157	43
西都児湯	78	7%	76	48	104	5%	101	37
日向入郷	85	8%	94	51	123	6%	136	41
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

45. 宮崎県

資_図表 45-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
宮崎県	114	0.8%	0.7	45	14	1.4%	0.1	53
宮崎東諸県	68	60%	1.2	58	5	36%	0.1	55
都城北諸県	12	11%	0.4	40	2	14%	0.1	51
宮崎県北部	11	10%	0.4	40	2	14%	0.1	52
日南串間	5	4%	0.3	38	2	14%	0.1	62
西諸	9	8%	0.6	44	1	7%	0.1	50
西都児湯	8	7%	0.5	41	1	7%	0.1	49
日向入郷	1	1%	0.1	32	1	7%	0.1	51
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 45-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
宮崎県	14,383	0.9%	83	43	9,623	1.0%	56	48	4,760	0.8%	28	44
宮崎東諸県	4,510	31%	82	42	2,876	30%	52	45	1,634	34%	30	45
都城北諸県	2,538	18%	87	45	1,516	16%	52	45	1,022	21%	35	49
宮崎県北部	2,178	15%	84	43	1,547	16%	59	51	631	13%	24	41
日南串間	1,230	9%	82	42	994	10%	66	56	236	5%	16	35
西諸	1,333	9%	86	44	870	9%	56	48	463	10%	30	45
西都児湯	1,344	9%	80	40	994	10%	59	50	350	7%	21	39
日向入郷	1,250	9%	84	43	826	9%	56	48	424	9%	29	44
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 45-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
宮崎県	3,202	0.9%	19	44	5,361	1.0%	31	48	1,060	1.5%	6.1	55
宮崎東諸県	1,056	33%	19	46	1,514	28%	27	45	306	29%	5.5	53
都城北諸県	463	14%	16	40	1,014	19%	35	52	39	4%	1.3	43
宮崎県北部	533	17%	20	48	815	15%	31	49	199	19%	7.6	58
日南串間	347	11%	23	53	463	9%	31	48	184	17%	12.3	69
西諸	280	9%	18	44	410	8%	26	44	180	17%	11.6	67
西都児湯	307	10%	18	44	627	12%	37	54	60	6%	3.6	48
日向入郷	216	7%	15	38	518	10%	35	52	92	9%	6.2	55
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 45-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
宮崎県	1,363	0.7%	7.9	45	258	1.3%	1.5	51	2,202	1.2%	12.8	53
宮崎東諸県	563	41%	10.2	48	138	53%	2.5	57	672	31%	12.2	52
都城北諸県	168	12%	5.8	43	60	23%	2.1	54	420	19%	14.4	56
宮崎県北部	232	17%	8.9	46	0	0%	0	43	251	11%	9.6	47
日南串間	72	5%	4.8	42	0	0%	0	43	88	4%	5.9	40
西諸	86	6%	5.5	43	30	12%	1.9	54	333	15%	21.4	68
西都児湯	83	6%	4.9	42	0	0%	0	43	216	10%	12.8	53
日向入郷	159	12%	10.7	48	30	12%	2.0	54	222	10%	15.0	57
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 45-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 （全施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
宮崎県	937	0.5%	5.4	40	0	0.0%	0	45	937	0.5%	5.4	41
宮崎東諸県	261	28%	4.7	39	0	0%	0	45	261	28%	4.7	39
都城北諸県	374	40%	12.8	52	0	0%	0	45	374	40%	12.8	53
宮崎県北部	148	16%	5.7	41	0	0%	0	45	148	16%	5.7	41
日南串間	76	8%	5.1	40	0	0%	0	45	76	8%	5.1	40
西諸	14	1%	0.9	33	0	0%	0	45	14	1%	0.9	33
西都児湯	51	5%	3.0	36	0	0%	0	45	51	5%	3.0	36
日向入郷	13	1%	0.9	33	0	0%	0	45	13	1%	0.9	33
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

45. 宮崎県

資_図表 45-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
宮崎県	1,696	1.1%	9.8	52	1,337	1.2%	7.8	53	359	1.0%	2.1	48
宮崎東諸県	591	35%	10.7	56	417	31%	7.6	52	174	48%	3.2	61
都城北諸県	256	15%	8.8	48	192	14%	6.6	48	64	18%	2.2	49
宮崎県北部	251	15%	9.6	51	216	16%	8.3	55	36	10%	1.4	39
日南串間	146	9%	9.8	52	134	10%	9.0	58	12	3%	0.8	31
西諸	171	10%	11.0	57	143	11%	9.2	59	28	8%	1.8	44
西都児湯	135	8%	8.0	45	114	9%	6.8	49	20	6%	1.2	37
日向入郷	146	9%	9.9	52	121	9%	8.2	55	25	7%	1.7	43
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 45-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
宮崎県	14,980	1.0%	87	49	12,623	1.0%	73	49	2,358	1.1%	13.7	51
宮崎東諸県	5,158	34%	94	53	4,100	32%	74	50	1,058	45%	19.2	61
都城北諸県	2,616	17%	90	51	2,286	18%	79	53	329	14%	11.3	46
宮崎県北部	2,065	14%	79	44	1,729	14%	66	44	336	14%	12.9	49
日南串間	1,194	8%	80	45	1,002	8%	67	45	192	8%	12.9	49
西諸	1,346	9%	87	49	1,201	10%	77	52	145	6%	9.3	43
西都児湯	1,323	9%	78	44	1,178	9%	70	47	144	6%	8.6	41
日向入郷	1,279	9%	86	49	1,126	9%	76	51	153	6%	10.3	44
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 45-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
宮崎県	4,439	0.6%	26	42	1,795	0.5%	10	38	13,990	1.0%	81	48
宮崎東諸県	2,692	61%	49	52	946	53%	17	46	6,740	48%	122	62
都城北諸県	600	14%	21	40	282	16%	10	37	2,198	16%	76	46
宮崎県北部	644	15%	25	42	162	9%	6	34	1,767	13%	68	44
日南串間	26	1%	2	32	53	3%	4	31	1,014	7%	68	44
西諸	205	5%	13	37	198	11%	13	41	869	6%	56	40
西都児湯	269	6%	16	38	94	5%	6	33	468	3%	28	31
日向入郷	3	0%	0	32	60	3%	4	31	934	7%	63	42
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 45-21 公的病院病床数、民間病院病床数

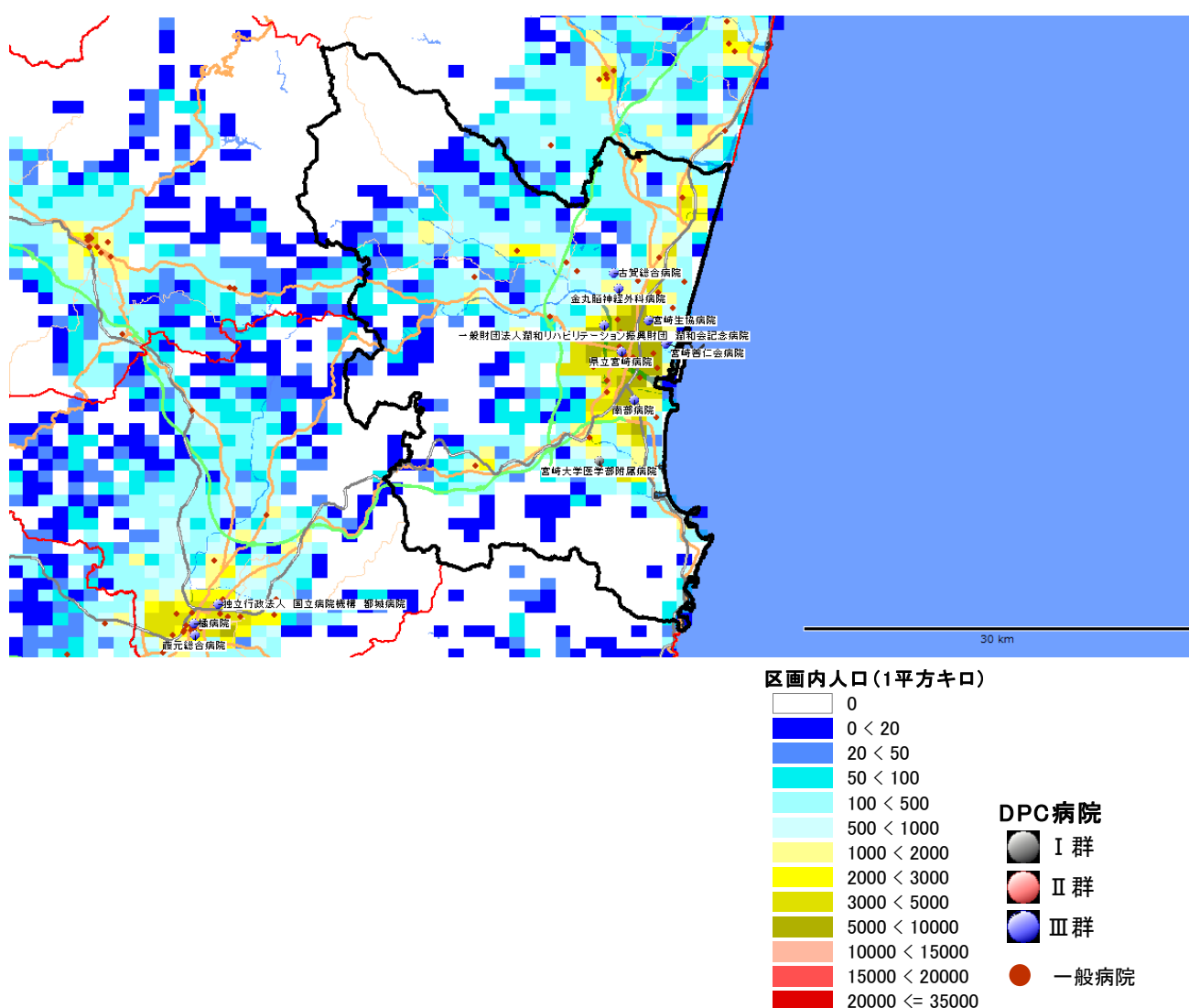
二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
宮崎県	4,748	4,404	175	14,468	5,005	3,683	46.8%	48	4.5%	48
宮崎東諸県	2,216	2,072	0	4,354	1,728	1,296	54.5%	51	0.0%	46
都城北諸県	307	307	0	3,370	1,557	390	16.5%	35	0.0%	46
宮崎県北部	684	602	78	2,050	569	528	51.4%	50	12.9%	52
日南串間	731	722	0	1,159	72	413	90.9%	66	0.0%	46
西諸	253	249	0	1,180	339	410	42.3%	46	0.0%	46
西都児湯	264	260	0	920	438	327	37.2%	44	0.0%	46
日向入郷	293	192	97	1,435	302	319	38.9%	45	23.3%	56
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

45. 宮崎県

みやざきひがしむろかた 45-1. 宮崎東諸県医療圏

構成市区町村¹ 宮崎市,国富町,綾町

人口分布² (1km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 宮崎東諸県医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(宮崎東諸県医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 宮崎東諸県(宮崎市)は、総人口約 427 千人(2015 年推計)、面積 871 km²、人口密度は 491 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 宮崎東諸県の総人口は 2025 年に 413 千人へと減少し(2015 年比-3%)、2040 年に 375 千人へと減少する(2025 年比-9%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 55 千人が、2025 年にかけて 75 千人へと増加し(2015 年比+36%)、2040 年には 84 千人へと増加する(2025 年比+12%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 宮崎東諸県の一人当たり医療費(国保)は 303 千円(偏差値 48)、介護給付費は 268 千円(偏差値 55)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 宮崎東諸県の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.31、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.46 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 59(病院医師数 60、診療所医師数 56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 70 と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 58 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 65 と多い。宮崎東諸県には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の県立宮崎病院(救命)、宮崎大学医学部附属病院(I 群・救命)、1000 例以上の古賀総合病院、宮崎善仁会病院、500 例以上の宮崎市郡医師会病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 52 と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 54 とやや多く、回復期病床数は偏差値 50 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 53 で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 57 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 宮崎東諸県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4510 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2876 床(偏差値 45)、高齢者住宅等が 1634 床(偏差値 45)である。介護保険施設、高齢者住宅系ともに全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4100 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 46、特別養護老人ホーム 45、介護療養型医療施設 53、有料老人ホーム 48、軽費ホーム 57、グループホーム 52、サ高住 39 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 58 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 55 とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、1058 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 61)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

【医療と介護の需要予測】

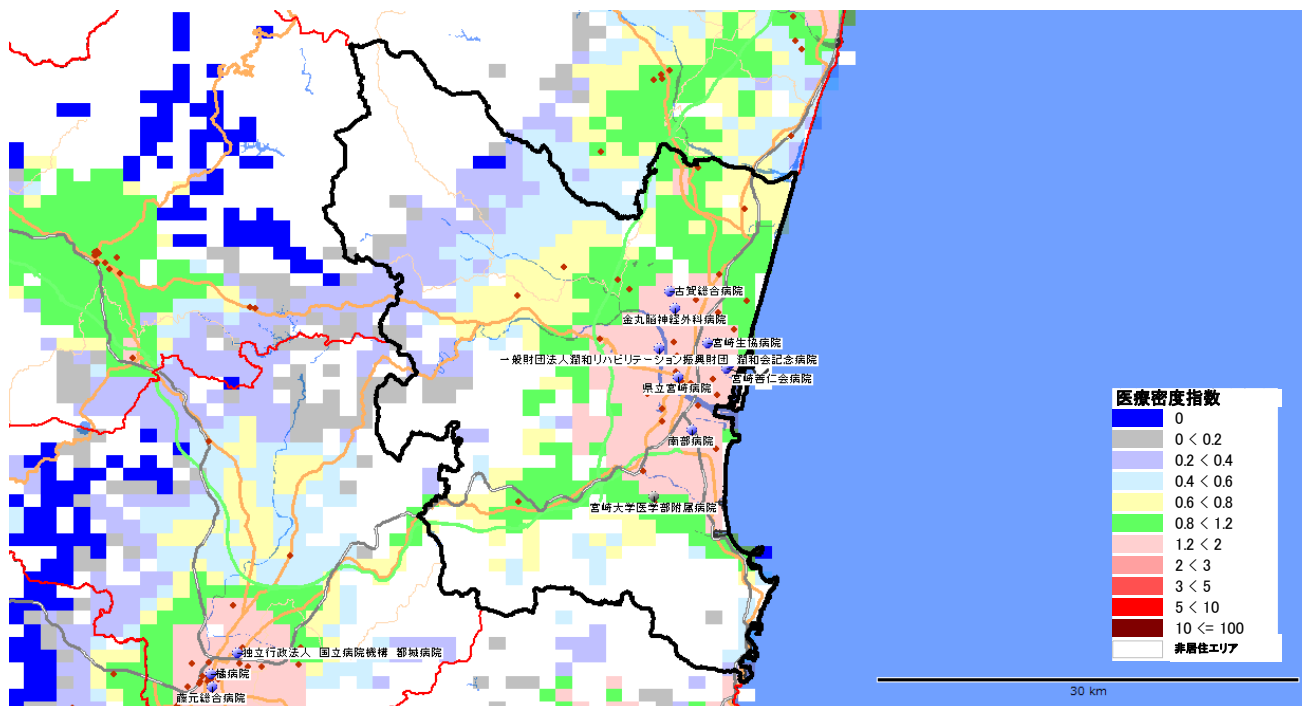
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-10%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-68%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

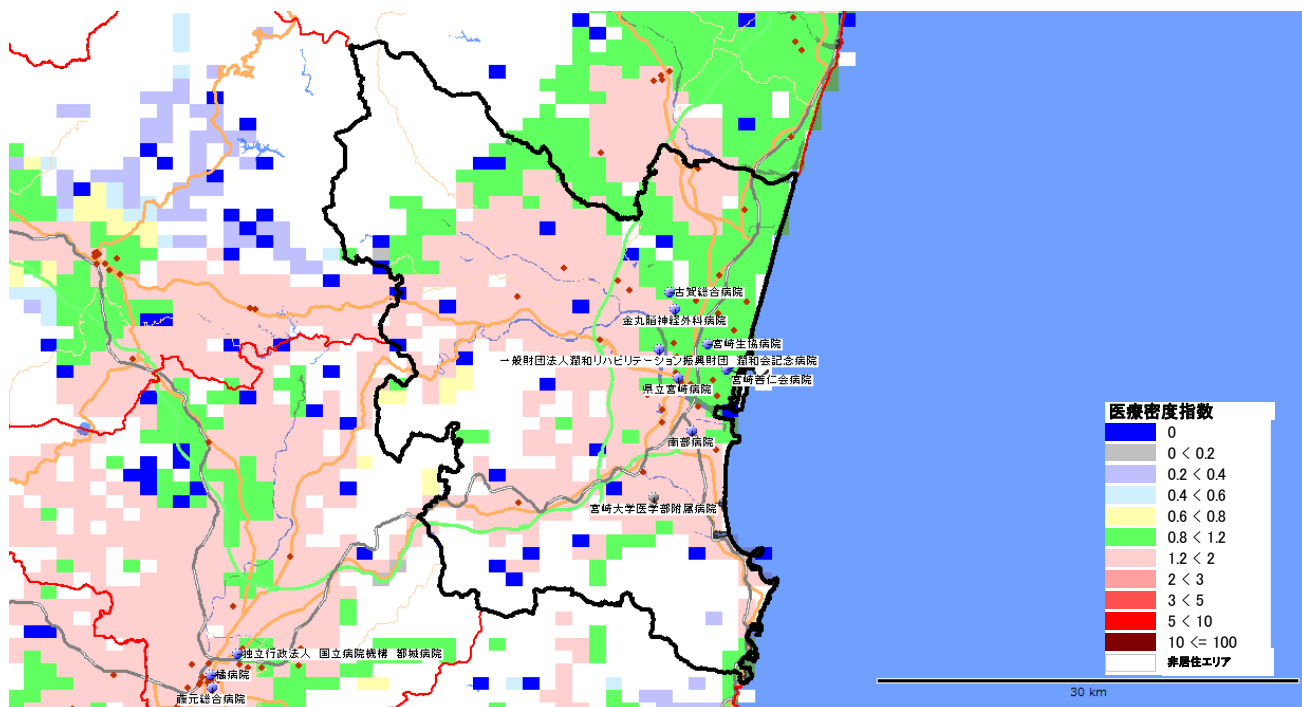
45. 宮崎県

2. 医療密度⁵

図表 45-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 45-1-2 慢性期医療密度指数マップ



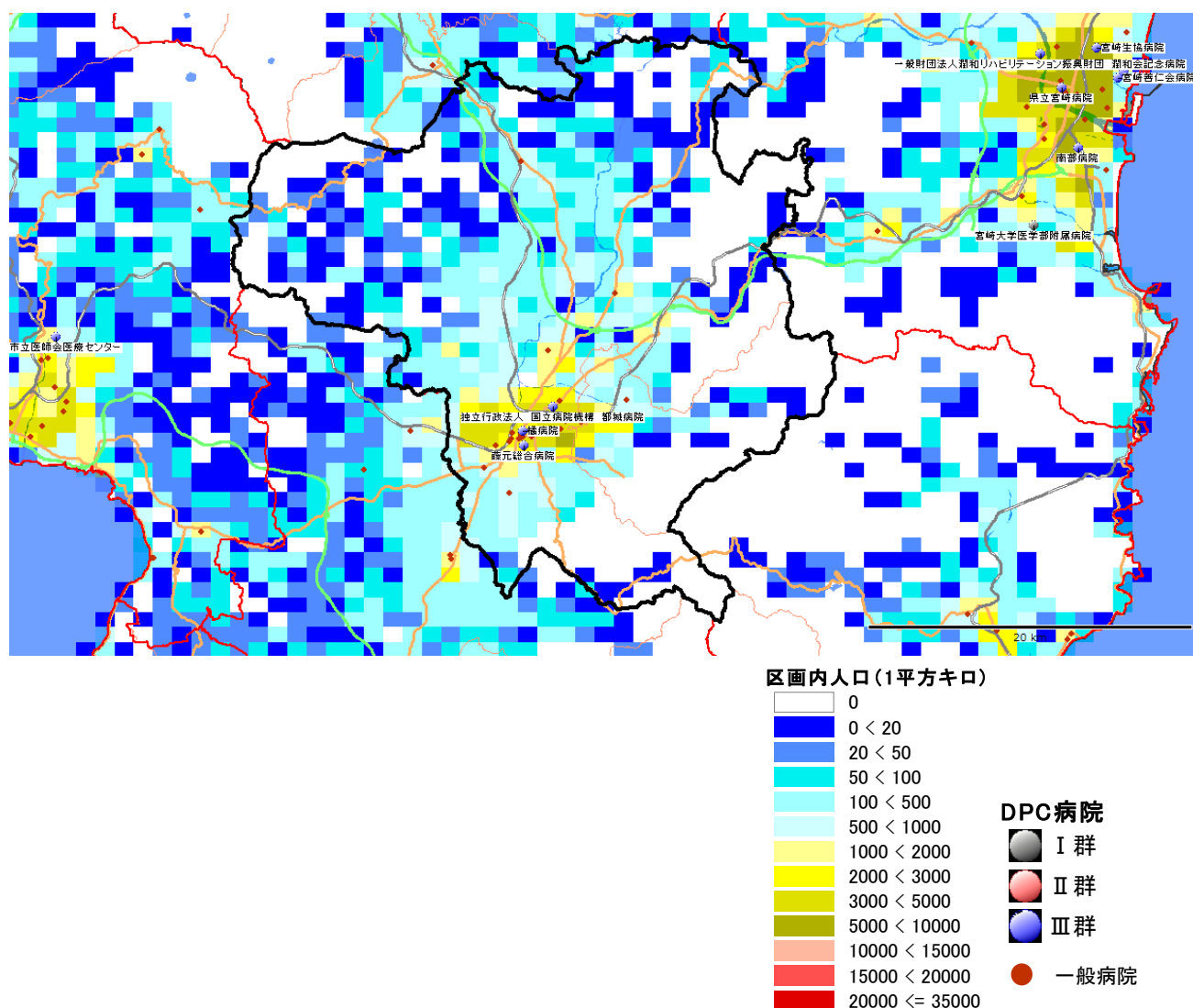
⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

みやこのじょうきたもろかた

45-2. 都城北諸県医療圏

構成市区町村¹ 都城市,三股町

人口分布² (1km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 都城北諸県医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(都城北諸県医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 都城北諸県(都城市)は、総人口約 191 千人(2015 年推計)、面積 763 km²、人口密度は 250 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 都城北諸県の総人口は 2025 年に 180 千人へと減少し(2015 年比-6%)、2040 年に 161 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 29 千人が、2025 年にかけて 33 千人へと増加し(2015 年比+14%)、2040 年には 34 千人へと増加する(2025 年比+3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 都城北諸県の一人当たり医療費(国保)は 338 千円(偏差値 57)、介護給付費は 291 千円(偏差値 61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 都城北諸県の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.1、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.79 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 46(病院医師数 47、診療所医師数 46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 69 と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 61 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。都城北諸県には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の都城病院、500 例以上の藤元総合病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 47 と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 52 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 56 と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 72 で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 46 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 都城北諸県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2538 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1516 床(偏差値 45)、高齢者住宅等が 1022 床(偏差値 49)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2286 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 40、特別養護老人ホーム 52、介護療養

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

型医療施設 43、有料老人ホーム 43、軽費ホーム 54、グループホーム 56、サ高住 52 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 40 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 51 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、329 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46) で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

【医療と介護の需要予測】

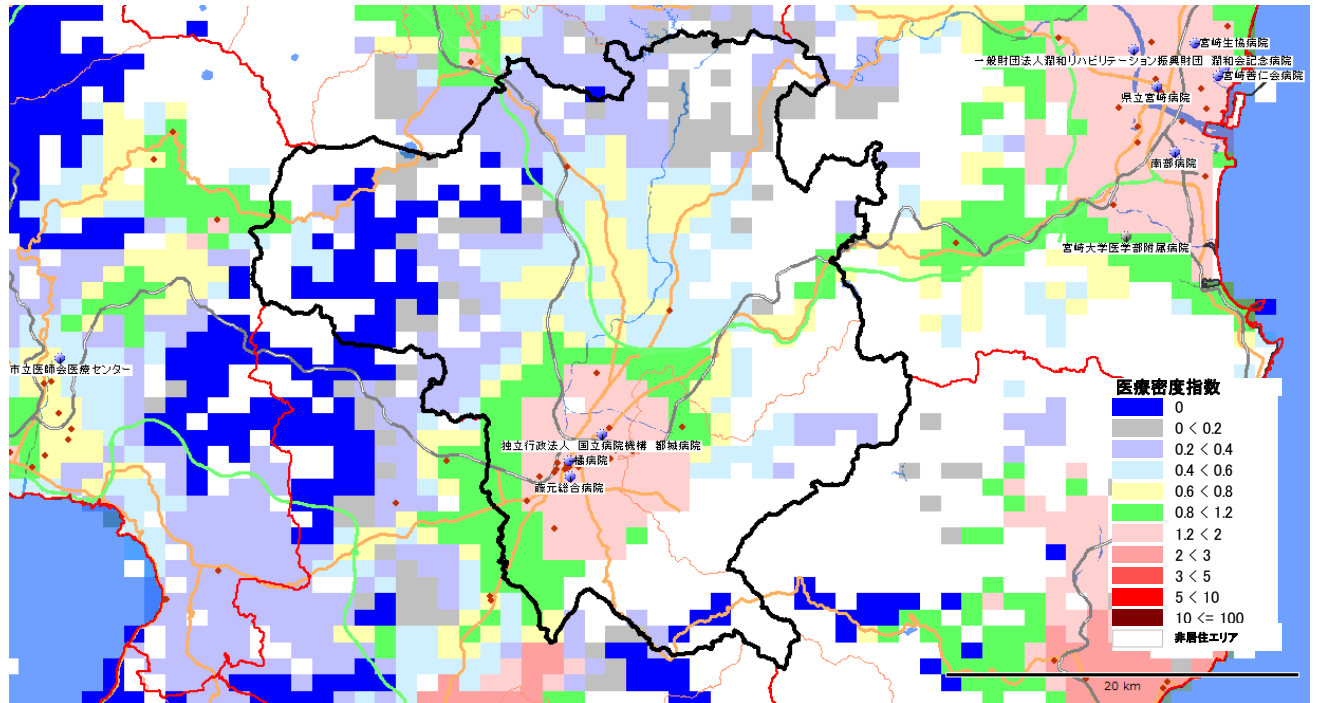
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-14%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は-35%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均 (95.5 床) と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

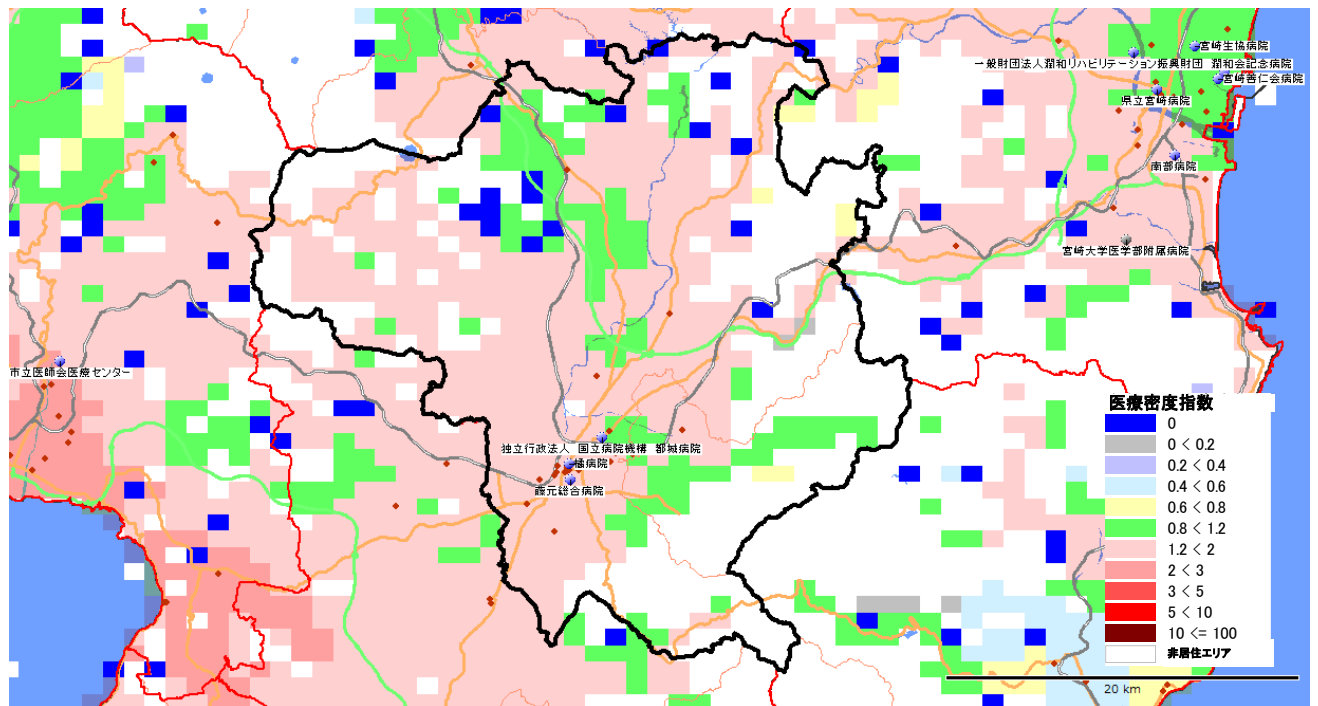
45. 宮崎県

2. 医療密度⁵

図表 45-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 45-2-2 慢性期医療密度指数マップ



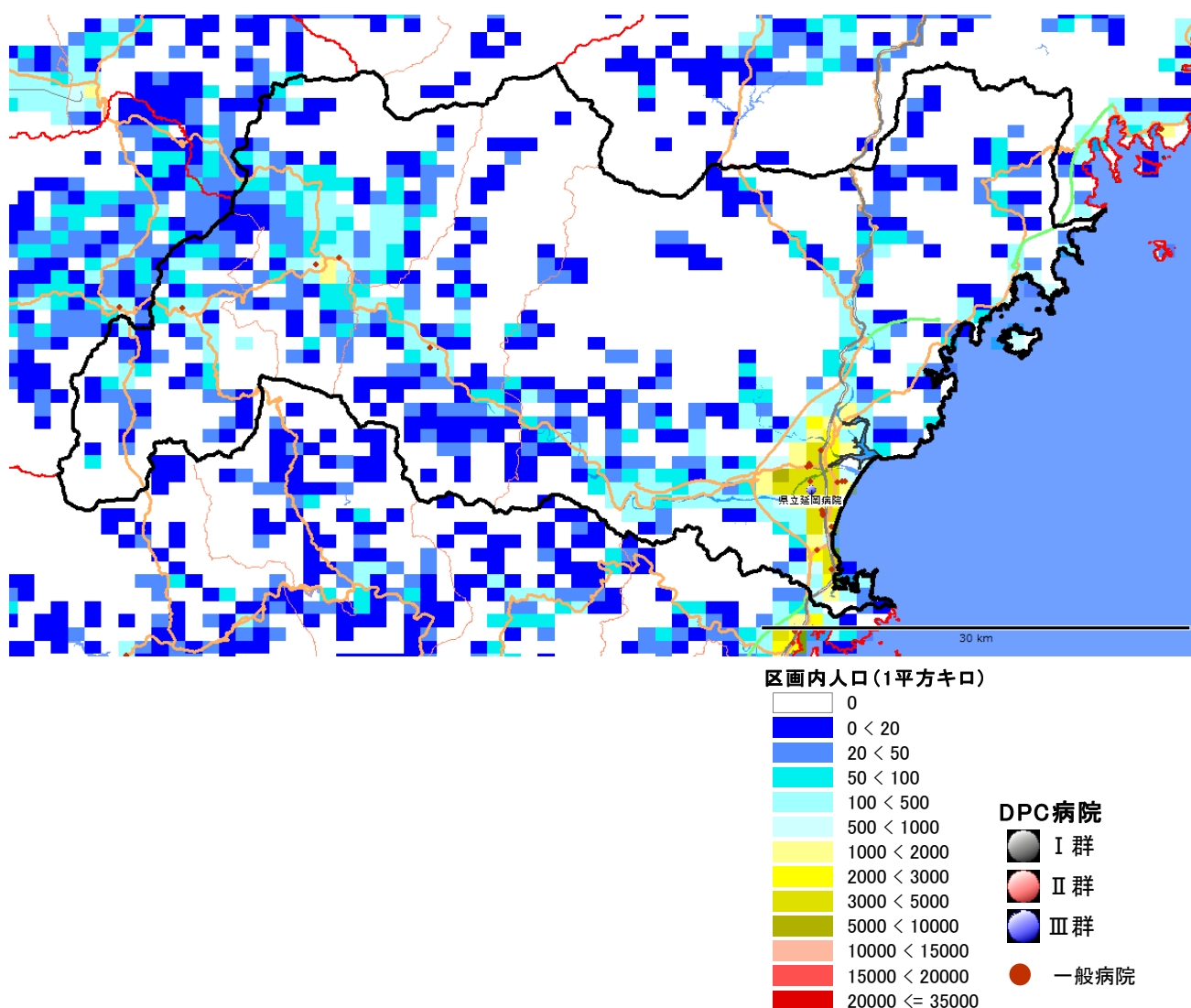
⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

みやざきけんほくぶ

45-3. 宮崎県北部医療圏

構成市区町村¹ 延岡市,高千穂町,日之影町,五ヶ瀬町

人口分布² (1km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 延岡西臼杵医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(宮崎県北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 宮崎県北部(延岡市)は、総人口約147千人(2015年推計)、面積1555km²、人口密度は95人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 宮崎県北部の総人口は2025年に132千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に109千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて29千人へと増加し(2015年比+12%)、2040年には27千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 宮崎県北部の一人当たり医療費(国保)は345千円(偏差値58)、介護給付費は285千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 宮崎県北部の一人当たり急性期医療密度指数³は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数は2.06で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は63と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。宮崎県北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の県立延岡病院(救命)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値61と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は67で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 宮崎県北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2178人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1547床(偏差値51)、高齢者住宅等が631床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1729人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム46、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム47、サ高住41である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、336人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

【医療と介護の需要予測】

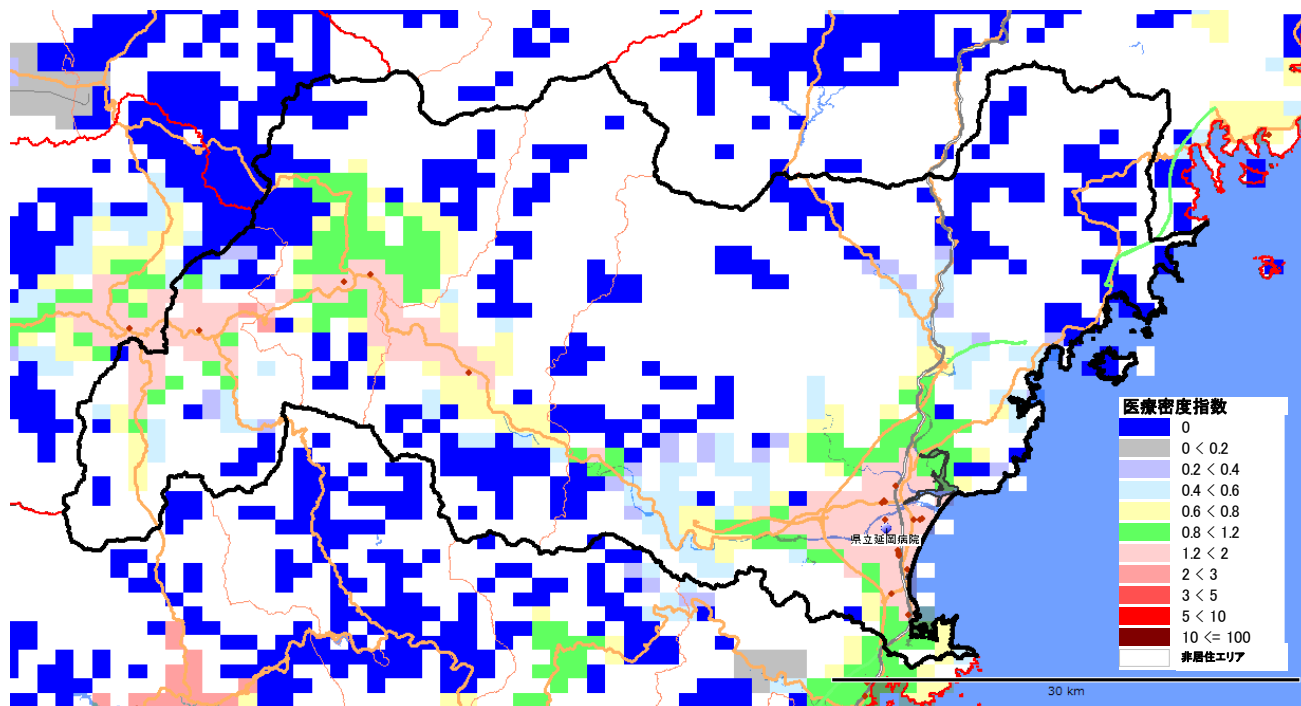
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-9%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-14%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

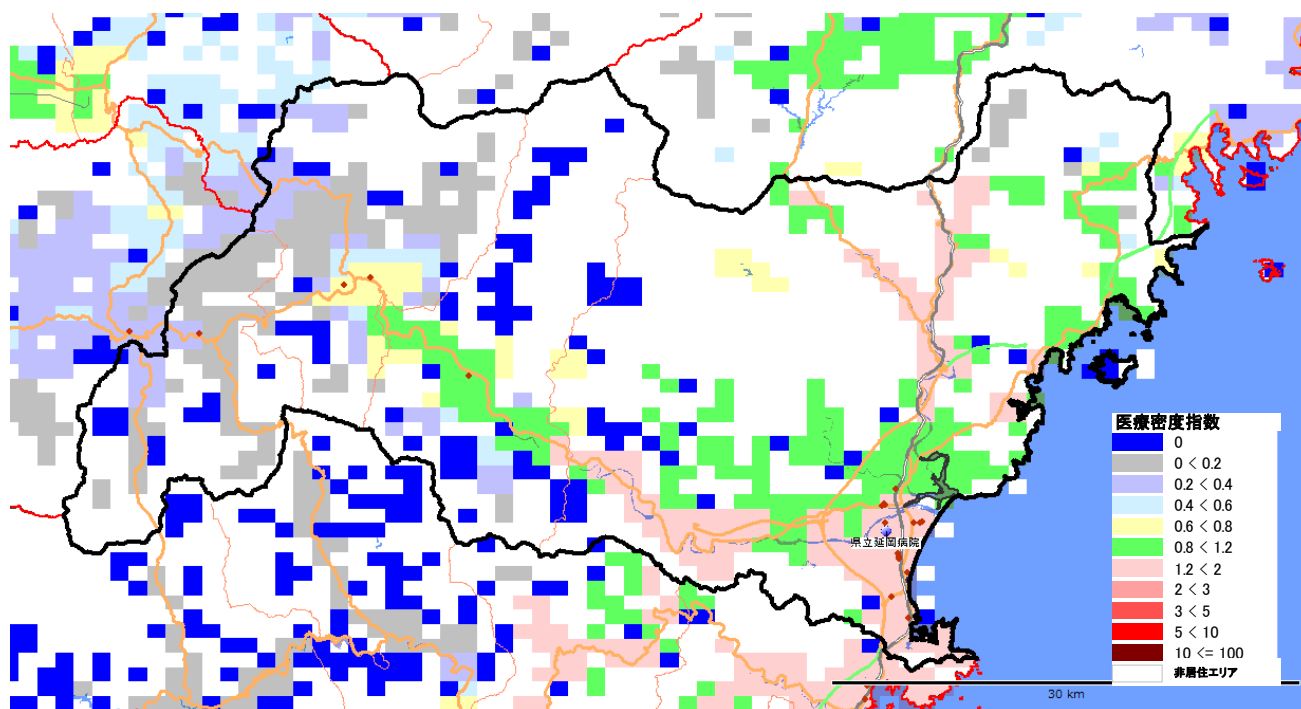
45. 宮崎県

2. 医療密度⁵

図表 45-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 45-3-2 慢性期医療密度指数マップ

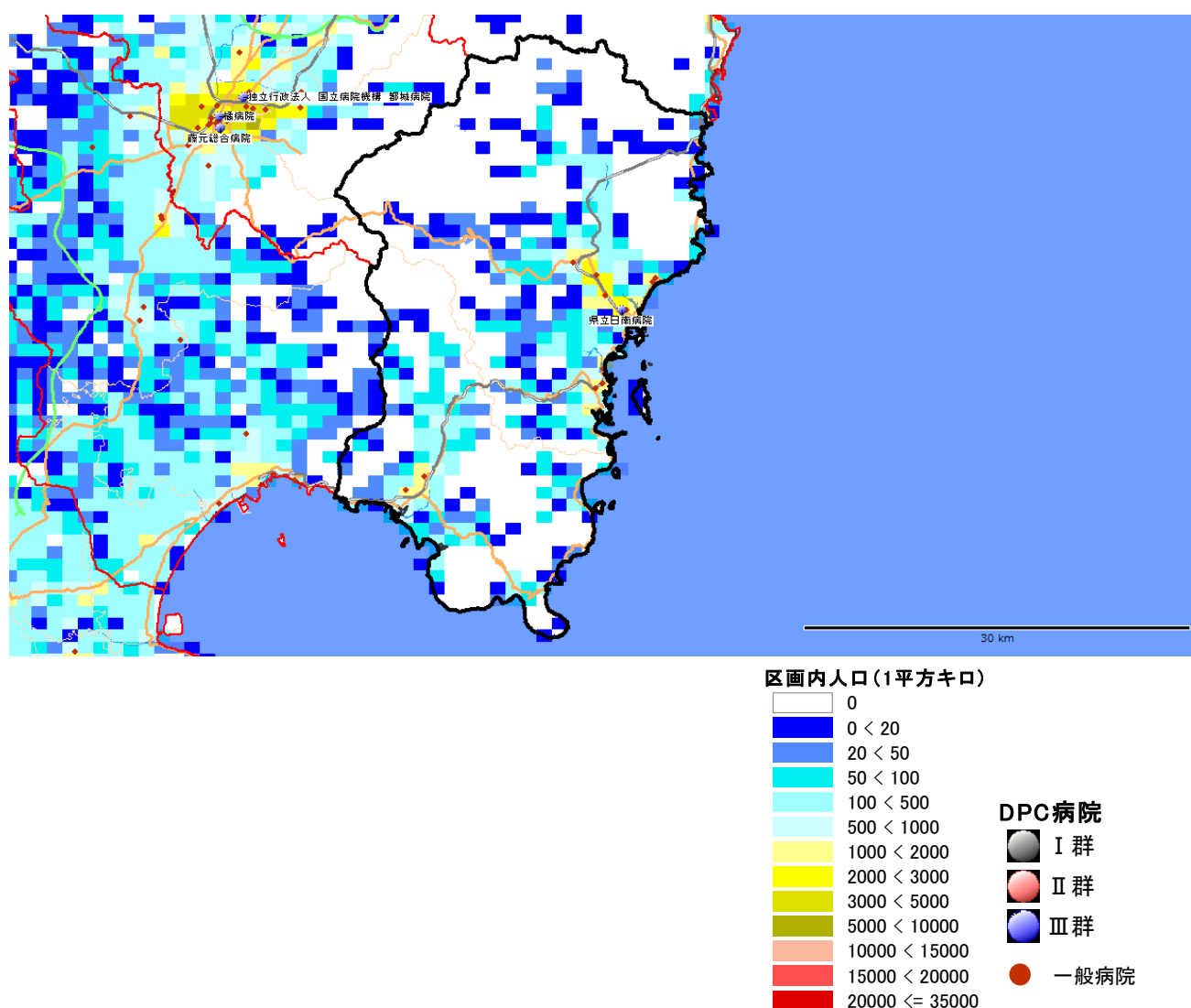


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

45-4. にちなんくしま 日南串間医療圏

構成市区町村¹ 日南市,串間市

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 日南串間医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000 人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000 人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(日南串間医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 日南串間(日南市)は、総人口約 73 千人(2015 年推計)、面積 831 km²、人口密度は 88 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 日南串間の総人口は 2025 年に 64 千人へと減少し(2015 年比-12%)、2040 年に 50 千人へと減少する(2025 年比-22%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 15 千人が、2025 年にかけて 15 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 14 千人へと減少する(2025 年比-7%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 日南串間の一人当たり医療費(国保)は 380 千円(偏差値 67)、介護給付費は 281 千円(偏差値 58)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 日南串間の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.58、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.58 で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 50(病院医師数 51、診療所医師数 46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 69 と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 66 で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は 47 とやや少ない。日南串間には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の県立日南病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 64 と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 53 とやや多く、回復期病床数は偏差値 49 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 80 で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 55 で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 日南串間の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1230 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 994 床(偏差値 56)、高齢者住宅等が 236 床(偏差値 35)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1002 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 53、特別養護老人ホーム 48、介護療養型医療施設 69、有料老人ホーム 42、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 40、サ高住 40 で

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

ある。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 38 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 62 と多い。介護職員（在宅）の合計は、192 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

【医療と介護の需要予測】

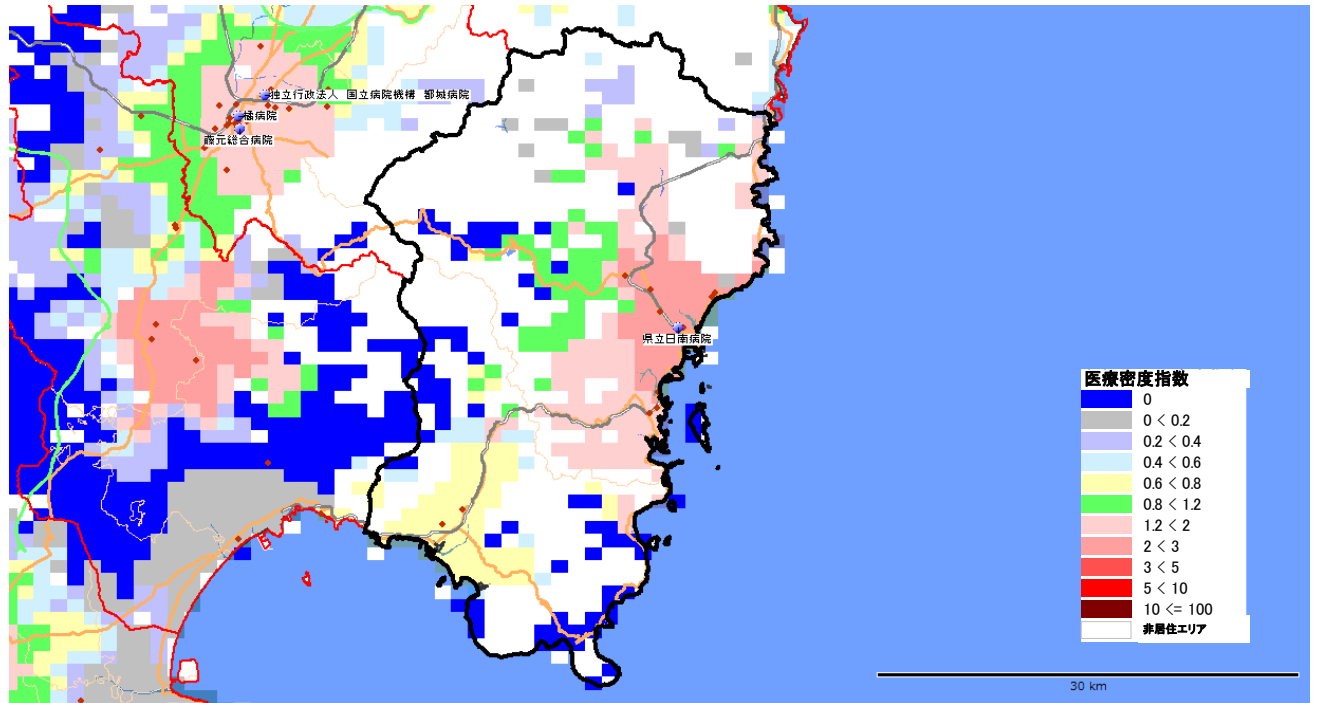
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-10%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-5%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

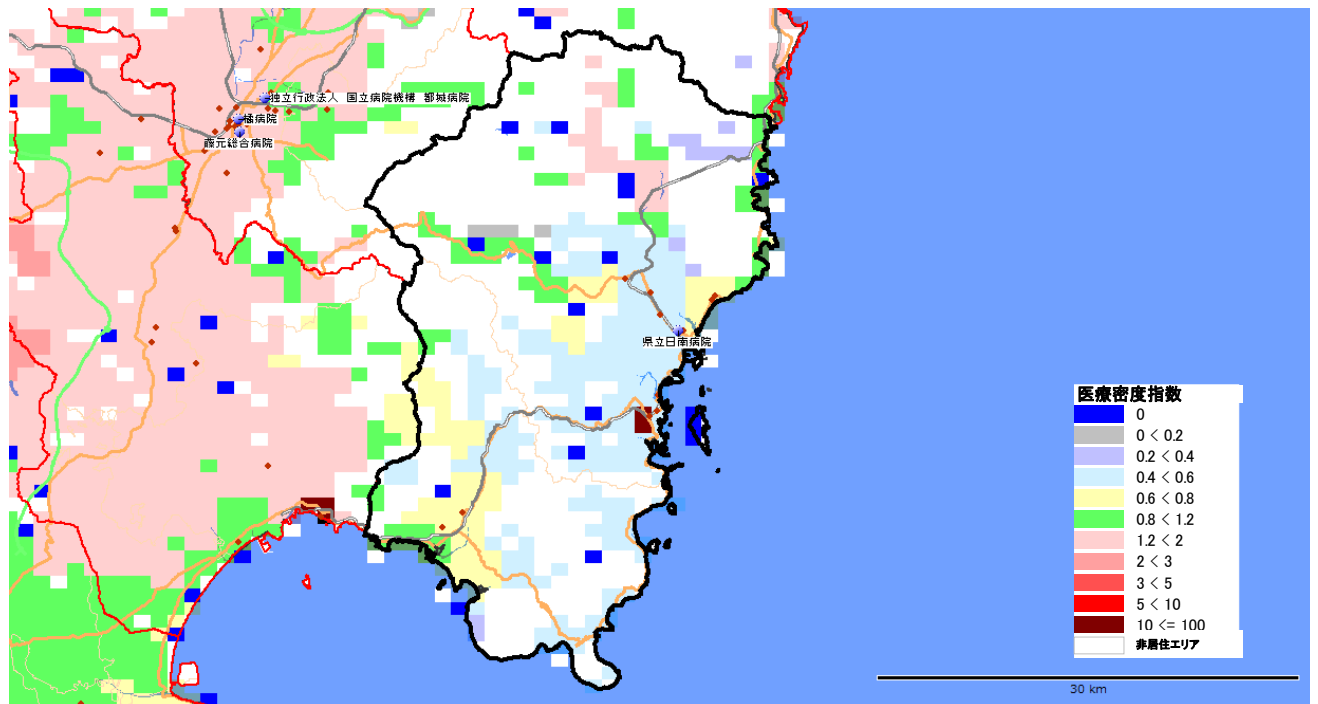
45. 宮崎県

2. 医療密度⁵

図表 45-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 45-4-2 慢性期医療密度指数マップ

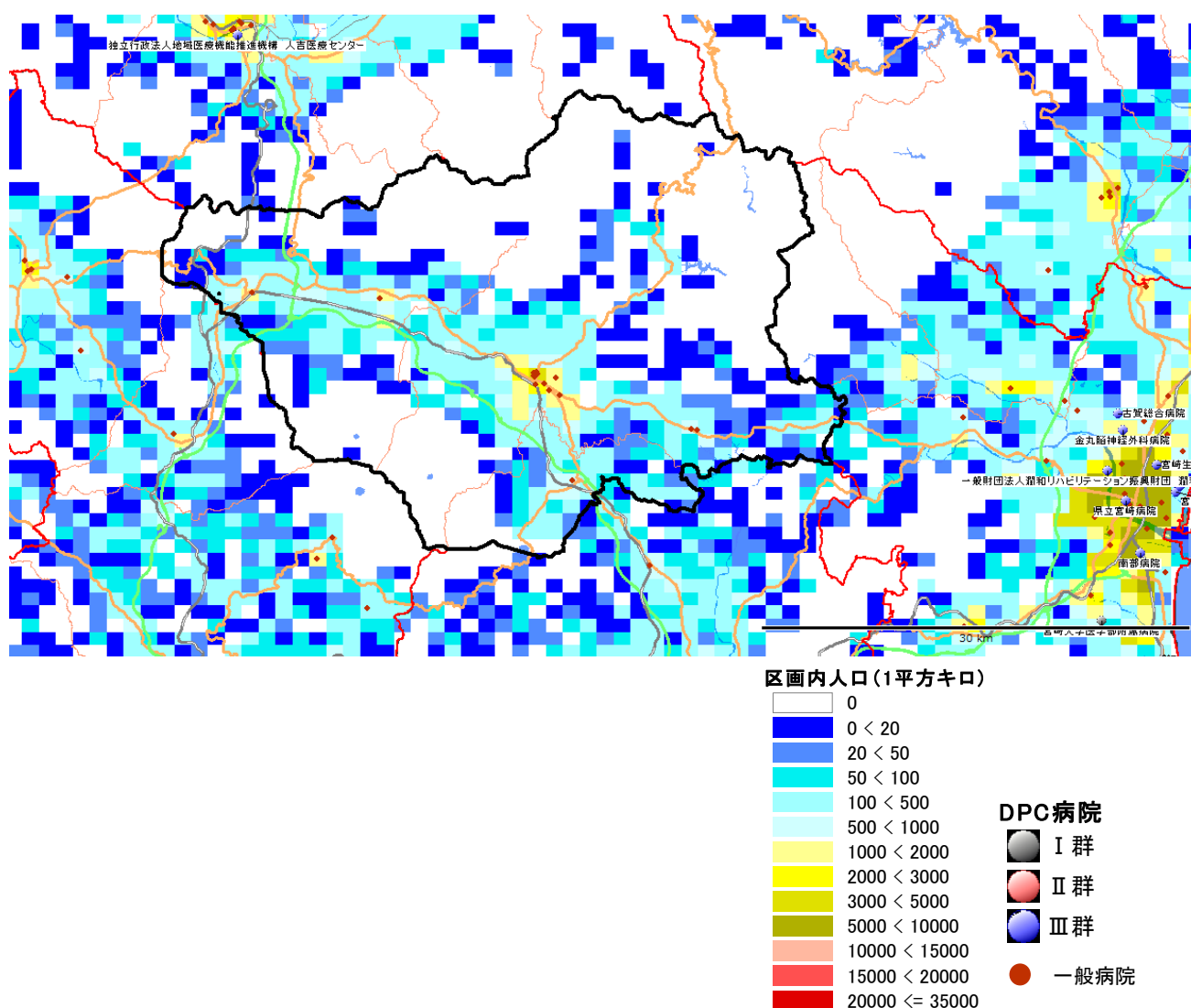


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

45-5. にしもろ 西諸医療圏

構成市区町村¹ [小林市,えびの市,高原町](#)

人口分布² (1km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 西諸医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(西諸医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西諸(小林市)は、総人口約 76 千人(2015 年推計)、面積 931 km²、人口密度は 81 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西諸の総人口は 2025 年に 67 千人へと減少し(2015 年比-12%)、2040 年に 55 千人へと減少する(2025 年比-18%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 16 千人が、2025 年にかけて 16 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 16 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西諸の一人当たり医療費(国保)は 357 千円(偏差値 61)、介護給付費は 294 千円(偏差値 62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西諸の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.72、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.23 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 43(病院医師数 44、診療所医師数 43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 64 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 53 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 39 と少ない。西諸には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 63 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 54 とやや多く、回復期病床数は偏差値 67 と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 64 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 49 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西諸の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1333 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 870 床(偏差値 48)、高齢者住宅等が 463 床(偏差値 45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1201 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 44、特別養護老人ホーム 44、介護療養型医療施設 67、有料老人ホーム 43、軽費ホーム 54、グループホーム 68、サ高住 33 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 44 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 50 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、145 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 43)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

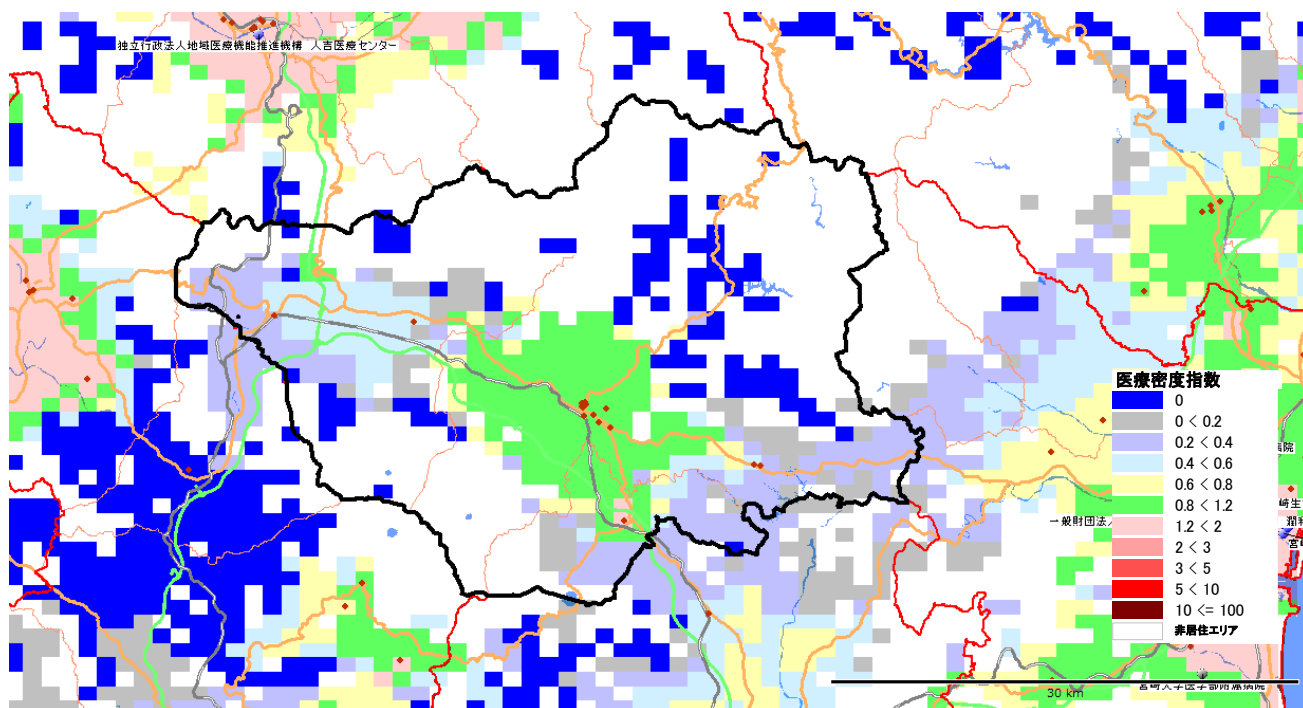
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は±0%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-3%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

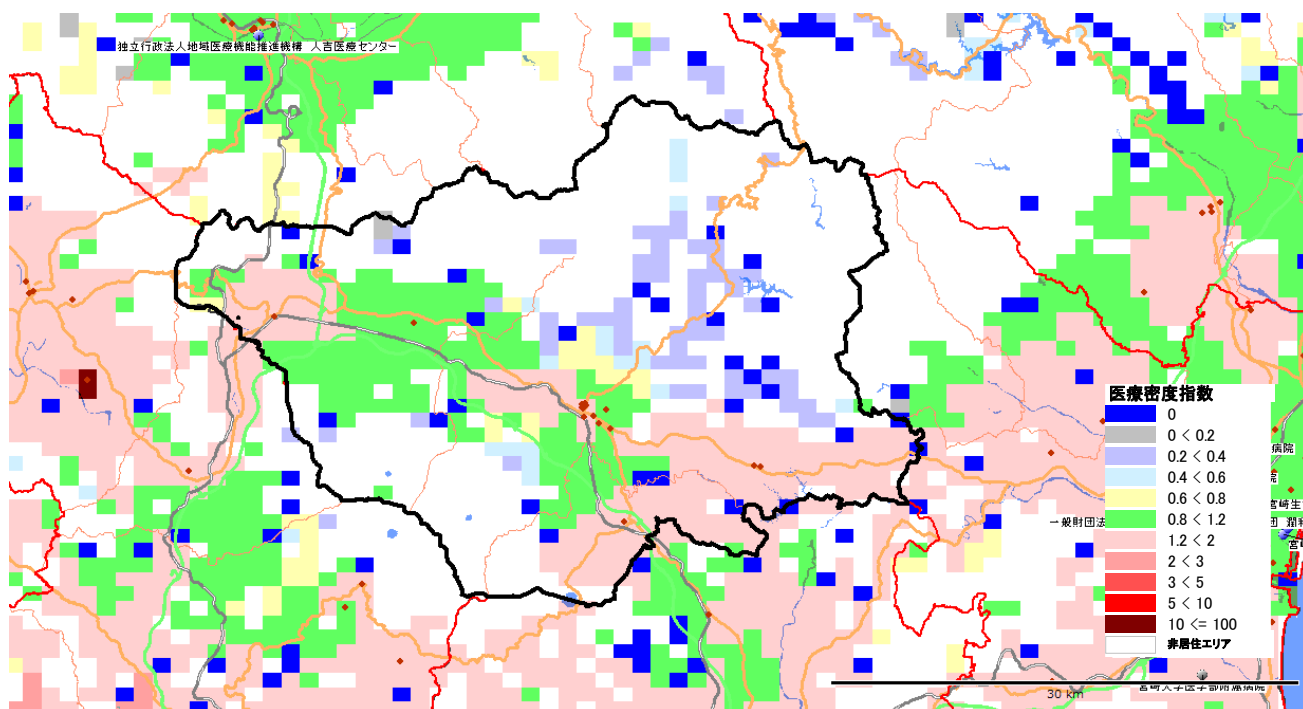
45. 宮崎県

2. 医療密度⁵

図表 45-5-1 急性期医療密度指数マップ



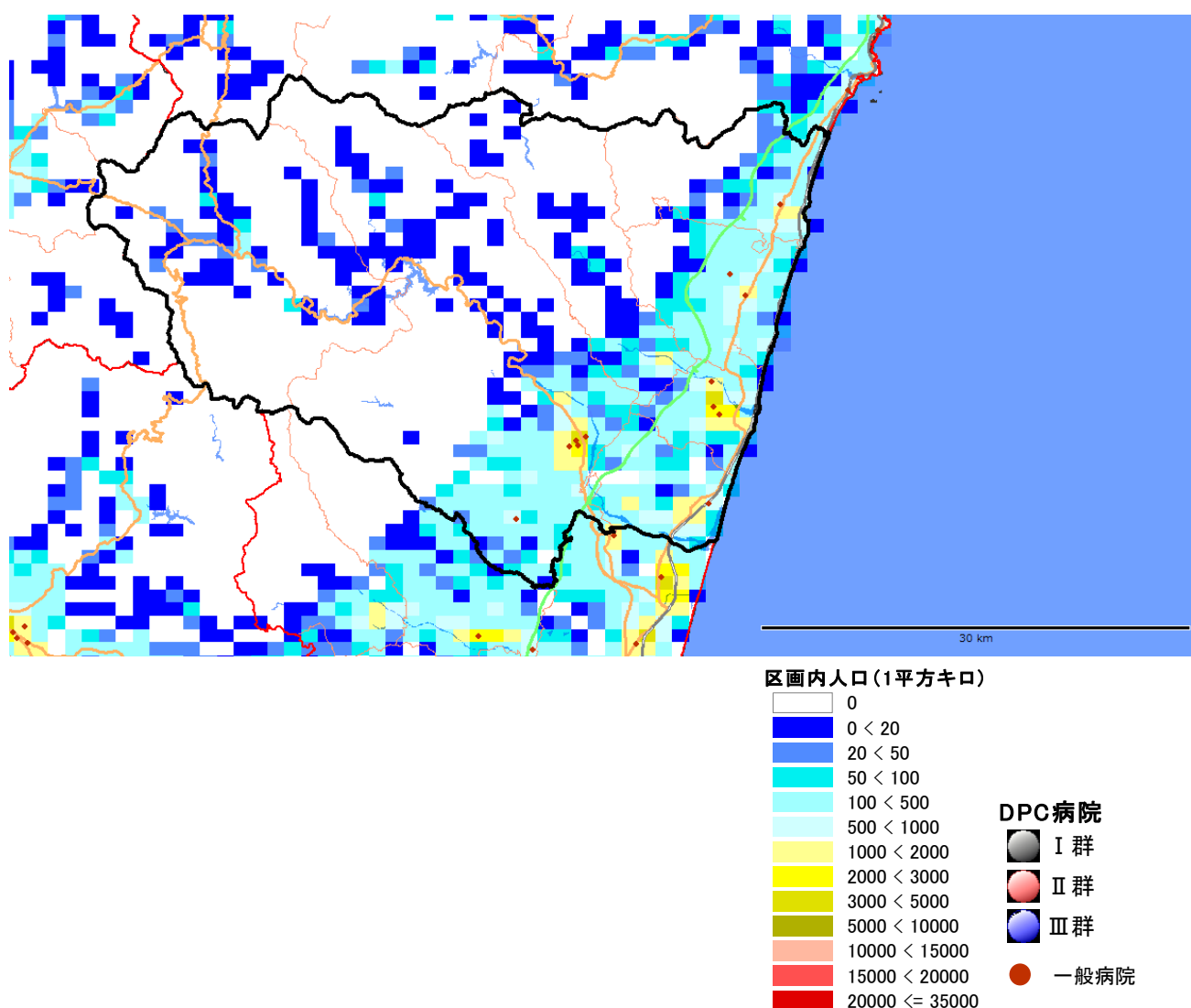
図表 45-5-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

45-6. さいとこゆ 西都児湯医療圏

構成市区町村¹ 西都市,高鍋町,新富町,西米良村,木城町,川南町,都農町
 人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 西都児湯医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(西都児湯医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 西都児湯(西都市)は、総人口約 103 千人(2015 年推計)、面積 1154 km²、人口密度は 89 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 西都児湯の総人口は 2025 年に 94 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 78 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 17 千人が、2025 年にかけて 20 千人へと増加し(2015 年比+18%)、2040 年には 19 千人へと減少する(2025 年比-5%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 西都児湯の一人当たり医療費(国保)は 312 千円(偏差値 50)、介護給付費は 250 千円(偏差値 50)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 西都児湯の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.87、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.51 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 37(病院医師数 37、診療所医師数 40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 47 とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 52 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 30 と非常に少ない。西都児湯には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 54 と療養病床数はやや多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 48 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 48 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 45 で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 50 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 西都児湯の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1344 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 994 床(偏差値 50)、高齢者住宅等が 350 床(偏差値 39)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1178 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 44、特別養護老人ホーム 54、介護療養型医療施設 48、有料老人ホーム 42、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 53、サ高住 36 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 41 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 49 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、144 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 41)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

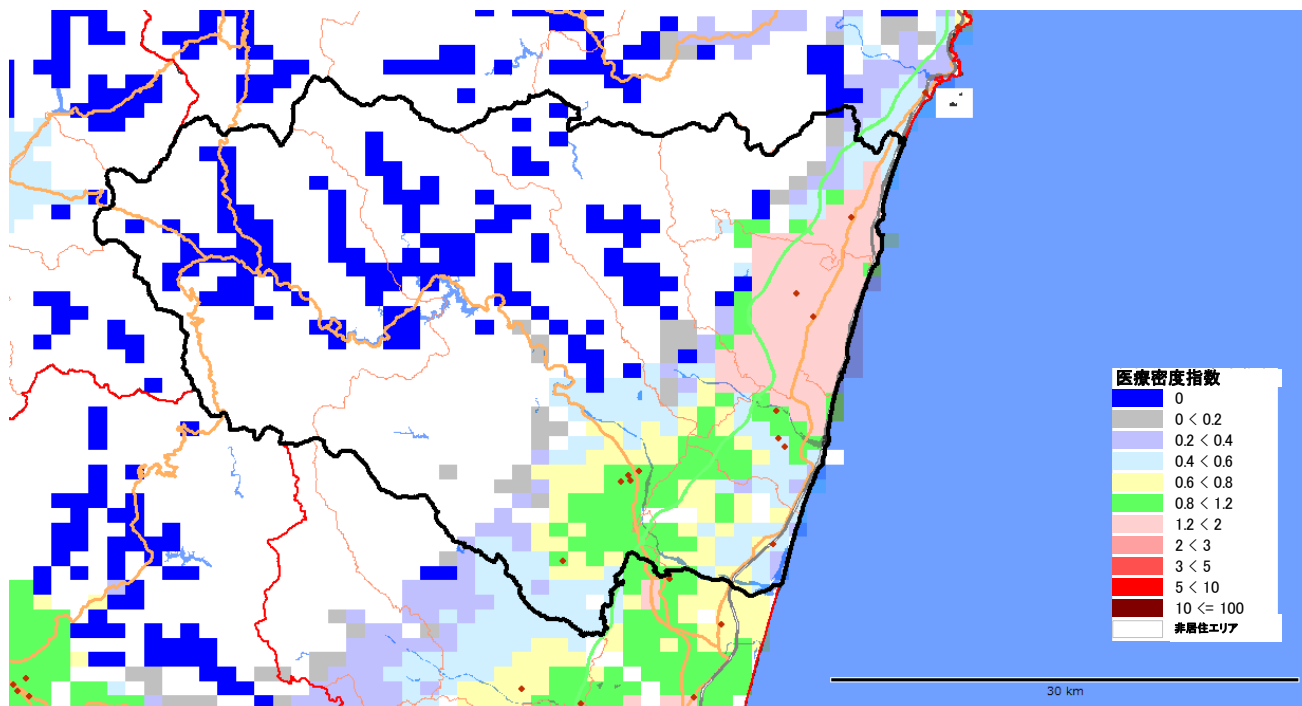
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は－11%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は－26%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

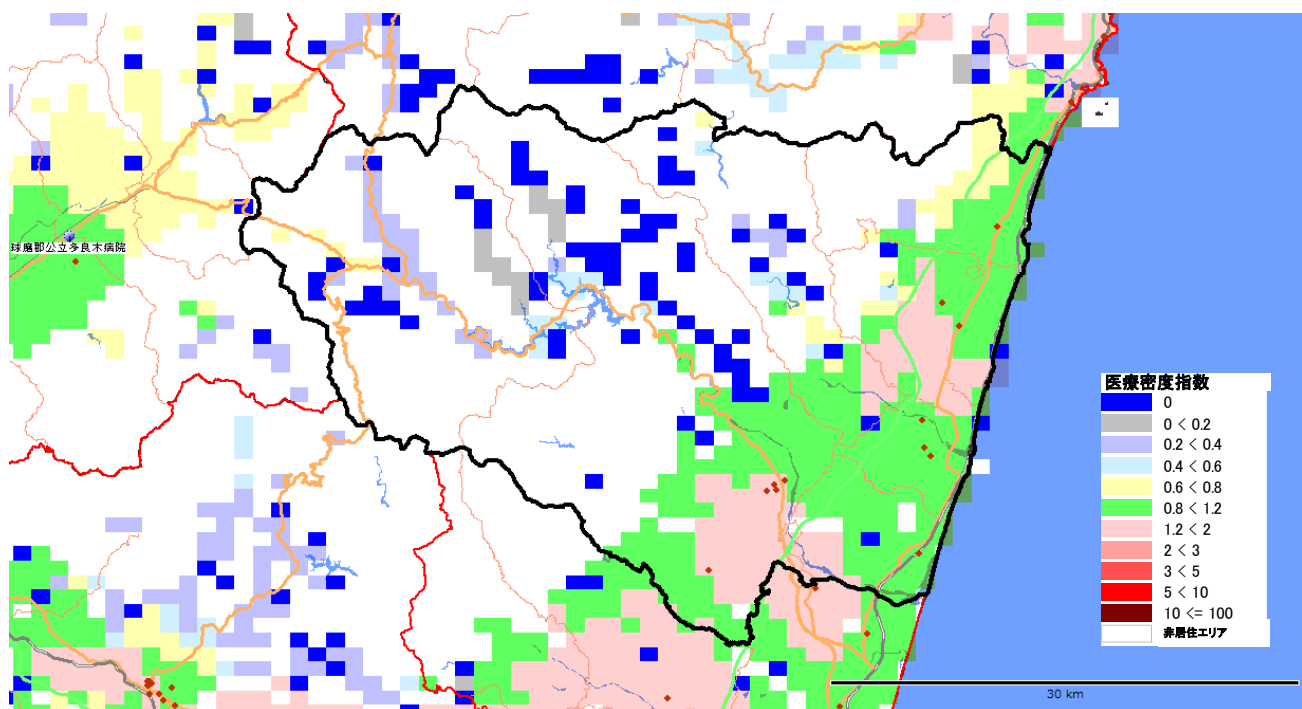
45. 宮崎県

2. 医療密度⁵

図表 45-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表 45-6-2 慢性期医療密度指数マップ



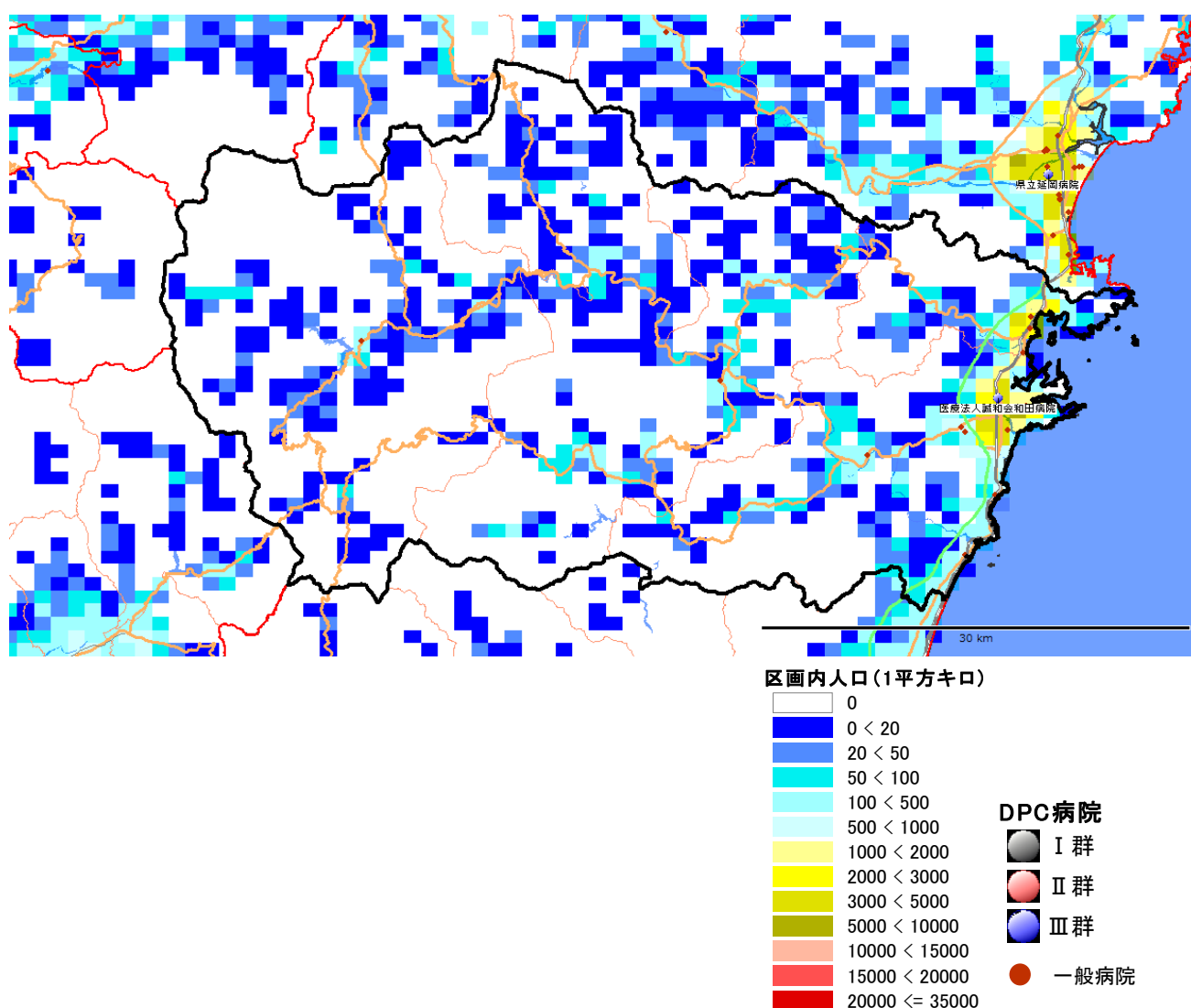
⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

ひゅうが いりごう

45-7. 日向入郷医療圏

構成市区町村¹ 日向市, 門川町, 諸塚村, 椎葉村, 美郷町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 日向入郷医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(日向入郷医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：**日向入郷(日向市)は、総人口約91千人(2015年推計)、面積1630km²、人口密度は56人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：**日向入郷の総人口は2025年に84千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に72千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には17千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：**日向入郷の一人当たり医療費(国保)は338千円(偏差値57)、介護給付費は246千円(偏差値49)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：**日向入郷の一人当たり急性期医療密度指数³は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数は1.99で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：**総医師数の偏差値が40(病院医師数43、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は62と多い。

***一般病床等の現状：**人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。日向入郷には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：**人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：**総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値59と多い。

***精神病床の現状：**人口当たりの精神病床の偏差値は79で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：**人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：**日向入郷の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1250人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が826床(偏差値48)、高齢者住宅等が424床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1126人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設38、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム48、軽費ホーム54、グループホーム57、サ高住33である。

***在宅ケアの現状：**在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実

51 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、153 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 44)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

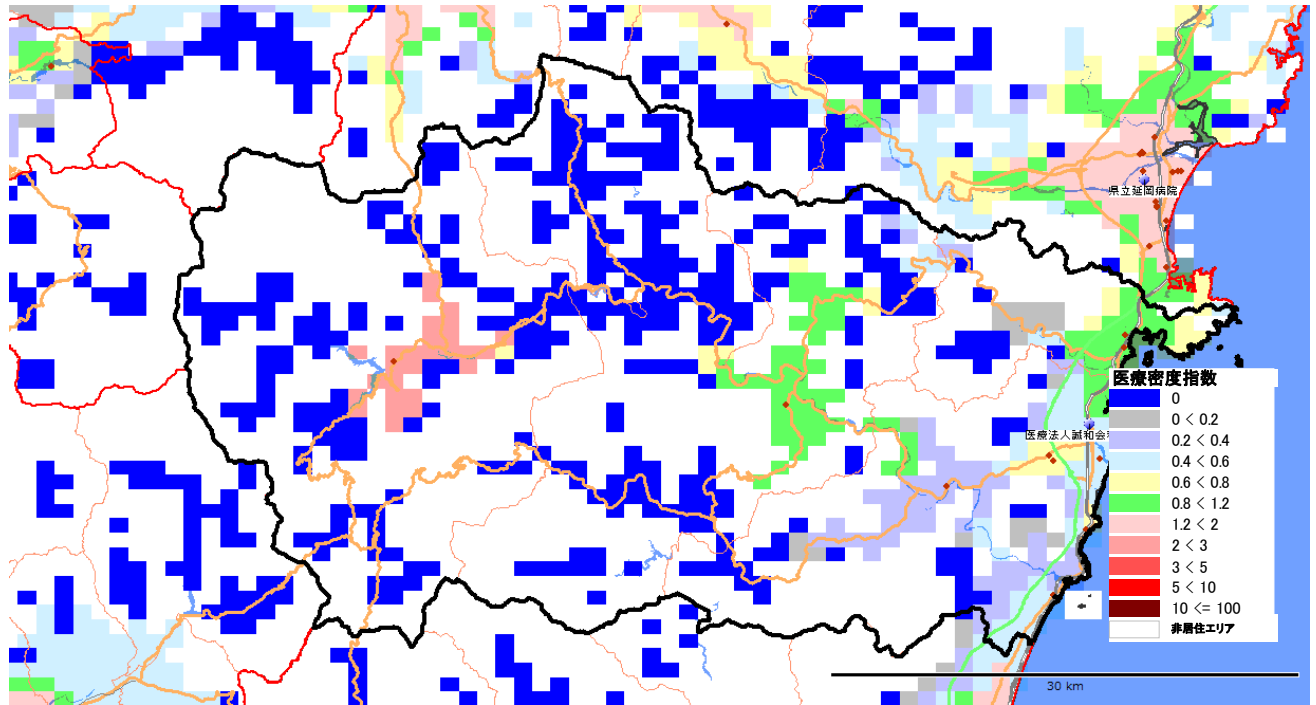
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-2%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-20%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

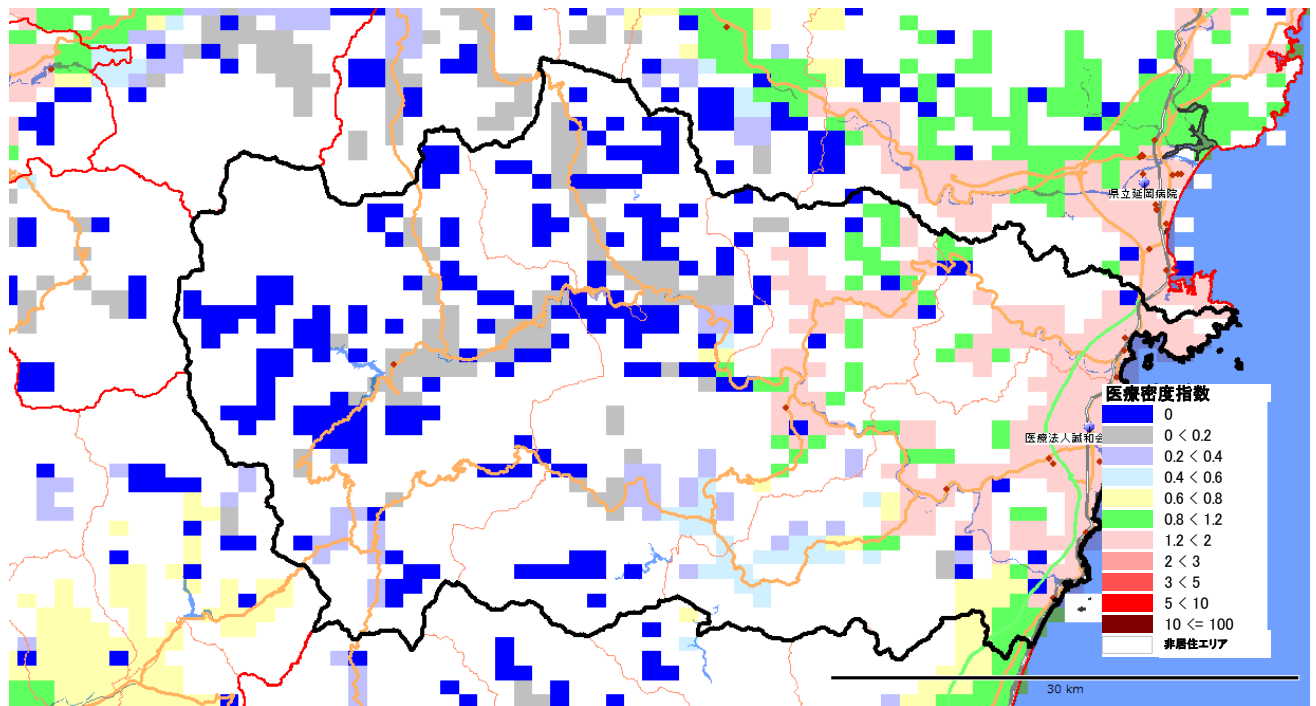
45. 宮崎県

2. 医療密度⁵

図表 45-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表 45-7-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。